

機械器具 12 理学診療用器具
一般医療機器 弾性ストッキング（JMDNコード：31724000）

ジョブスト クラシック

【警告】

<適用対象（患者）>

次の患者に使用する際には、特に注意すること。

1. 深部静脈血栓症の患者。[本品を装着すると肺血栓塞栓症を起こすおそれがあるため。]
2. 動脈血行障害、急性心不全、未処置のうっ血性心不全及び装着部位に未処置の炎症性疾患・化膿性疾患・皮膚疾患のある患者。[圧迫により症状が悪化するおそれがあるため。]
3. 創傷のある患者(創傷がある患者に使用する場合は、ドレッシング材等で被覆してから着用すること)。[症状が悪化するおそれがあるため。]
4. 装着部位に神経障害のある患者。
[血行障害を起こしても認識できないおそれがあるため。]
5. 繊維に対して過敏症のある患者。
[接触性皮膚炎を起こすおそれがあるため。]

<使用方法>

医師が必要と認める場合を除き就寝時は着用しないこと。

[臥位になることで静脈還流等に変化が起これ、患者によっては必要以上の圧迫圧がかかるおそれがあるため。]

【禁忌・禁止】

1. 重度の血行障害、うっ血性心不全及び有痛性青股腫の患者。
[圧迫により症状を悪化させる危険性が高いため。]
2. 感染性静脈炎の患者。
[菌血症や敗血症を発生、増悪させるおそれがあるため。]
3. 装着部位に極度の変形を有する患者。
[適切な圧迫圧が得られないため。]

【形状・構造及び原理等】

<原理>

本品は、種々の加工法により成型された円柱状（又は筒状）のストッキングである。装着部に編み上げられた糸の弾力により同心性の圧迫力を加えると同時に、末梢部から中枢に向かって圧迫圧が漸減する構造になっている。

■品種

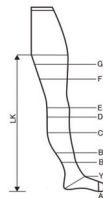
ジョブスト クラシック 3 足首圧45～61hPa（34～46mmHg）

■サイズ

サイズ表に示すとおり、適用周囲長の異なる I（SS）～VI（3L）の6サイズがある。

サイズ表

| サイズ | 適用周囲長 (単位：cm) | | | | | |
|----------------|---------------|--------|---------|--------|--------|---------|
| | I (SS) | II (S) | III (M) | IV (L) | V (2L) | VI (3L) |
| 大腿部(股下5cm) (G) | 43-57 | 45-62 | 49-67 | 53-72 | 56-77 | 60-81 |
| 大腿中央部 (F) | 39-52 | 41-56 | 44-60 | 47-65 | 50-69 | 53-73 |
| 膝蓋骨 (E) | 30-37 | 33-40 | 35-43 | 37-45 | 39-48 | 41-51 |
| 腓骨頭 (D) | 27-33 | 29-36 | 32-39 | 34-42 | 36-45 | 38-48 |
| ふくらはぎ (C) | 28-34 | 30-37 | 33-40 | 35-43 | 37-46 | 39-49 |
| アキレス腱 (B1) | 23-27 | 24-29 | 26-32 | 29-35 | 31-37 | 33-39 |
| 足首 (B) | 18-20 | 20-22 | 22-24 | 24-26 | 26-28 | 28-30 |
| 足関節 (Y) | 26-31 | 28-33 | 29-35 | 31-37 | 32-38 | 33-40 |
| つま先 (A) | 17-22 | 19-24 | 21-26 | 23-29 | 25-32 | 27-34 |



<適用肢長>

パンティストッキングタイプ／片足ストッキングタイプ
股下長さ（L K）：65-75cm

■タイプ

パンティストッキングタイプ（つま先なし）
片足ストッキングタイプ（つま先なし）

■素材

ポリアミド、ポリウレタン

【使用目的又は効果】

<使用目的>

本品は、下肢の静脈血、リンパ液のうっ滞を軽減又は予防する等、静脈還流の促進を目的に使用される医療用の弾性ストッキングである。末梢部を最大に中枢に向かい漸減的に圧力を加える機能を有する。

*【使用方法等】

1. 装着前（圧迫圧、タイプ、サイズの決定）

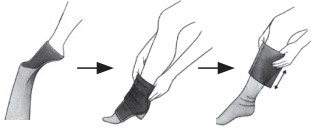
- (1) 浮腫の発生状況、圧迫する目的に応じ、圧迫圧、タイプを選択する。
- (2) 各測定箇所の周径を全て計測し、適切なサイズを選択する。
注意：サイズが複数にまたがる場合には、基本的に大きいサイズを選択する。

2. 装着時

- (1) 必要に応じてゴム手袋等を装着する。また転倒を防ぐため、座位で装着する。
- (2) 本品に片手を入れ、踵部分を掴んで、つま先を残して裏返す。



- (3) 裏返したストッキングの足部を、つま先から踵にかけて装着する。十分伸ばしながら少しずつたくし上げる。その際、ねじれやかたよりが無いことを確認する。



- (4) 全体的にしわがなく、踵部がしっかりと正しい位置に収まっていることを確認し、長さを調整する。
- * (5) 片足ストッキングを単独で装着する場合は、ウエストベルト背側内面に付属のサイズ調整ベルト面ファスナーを適切な位置で固定し、ウエストベルトを延長する。(実際に着用した際に、サイズ調整ベルトを腹部側に回して、片端がウエストベルトの面ファスナーに届く位置) 装着後サイズ調整ベルト片端を腹部へ回し、ウエストを締め過ぎない程度に調整してウエストベルトの面ファスナーに固定する。両足に装着する場合は、それぞれのウエストベルト内側に相手の面ファスナーで接続し、ウエストを締め過ぎない程度に調整して固定する。
- (6) パンティストッキングの場合は、着衣を太ももの途中まで引っ張り続ける。その後立ち上がり、両手を使って胴体部分の布地をつかんでウエスト位置まで引き上げる。腹部とヒップ部分を調整し、ヒップ部分をぴったりとおさめる。こうすることで、着衣がずり落ちるのを防ぐ。胴体前方部分を適切な高さまで引っ張り上げる。
- (7) 手のひらを外側に向けて後方部へ両手を入れ、いったん布地を持ち上げて肌から離す。持ち上げた布地をおろして、両臀部へぴったりとはまるように調節する。

3. 装着後（装着中）の確認

- (1) かかたが正しい位置に収まっていることを確認する。
- (2) たるみ、しわ、よじれ等がないことを確認し、必要に応じて適宜修正を行う。



【使用上の注意】

<使用注意（次の患者には慎重に適用すること）>

- 術後等患者の意識レベルが低い場合及び患者との意思疎通が困難な場合には患者の状態をよく観察して使用すること。
[動脈及び静脈の血行障害又は神経障害等を発症した際に、発見が遅れるおそれがあるため。]
- ギブス、外傷等により装着部位が長時間不動状態にある患者には、注意して使用すること。
[潜在的に深部静脈血栓症を発症している可能性があるため。]
- 本品の使用により、足に疼痛、しびれ、皮膚や爪の変色、皮膚温の低下、かゆみ、発疹、かぶれ等の異常及びその他装着前に感じなかった不快感、違和感が生じた場合は、直ちに使用を中止すること。
[動脈及び静脈の血行障害又は神経障害等を発症するおそれがあるため。]

<重要な基本的注意>

- 正しい圧迫圧を得るため、装着部位の規定箇所を必ず計測し、正しいサイズの本品を選択すること。また、サイズ適外の場合は使用しないこと。[血行障害や神経障害等を引き起こすおそれがあるため。]

あるため。]

2. 圧迫圧の過不足を防ぐため、たるみやしわのないように装着すること。本品が、装着中にたるんだり、しわが寄ったり、ずり落ちたり、誤った位置に装着されている場合には正しく装着しなおすこと。
[適正な圧迫圧が得られず、また血行障害や神経障害及び圧迫性潰瘍を引き起こすおそれがあるため。]
3. 腫脹の軽減等により装着中に各部位の周径が変わった場合は、適切なサイズに変更すること。
4. 本品に、破損（伝線、ほつれ、破れ等）がないことを確認してから装着すること。破損がある場合は適正な圧迫圧が得られないため使用しないこと。
5. 本品は繊維製品のため、次のような場合には破損（伝線、ほつれ、破れ等）する場合がありますので注意すること。
 - (1) 少しずつ引き上げず、強く引っ張り上げての装着
 - (2) 爪が伸びていたり、反っていたりする足への装着
 - (3) 肌荒れした手や伸びた指の爪での取扱い
 - (4) 鋭利なものへの接触
 - (5) 指輪、ブレスレットをつけたままでの装着
6. 本品をはさみで切るなど加工、修理を行わないこと。
7. 本品は弾性ストッキングに精通した術者が、必ず装着者に使用方法を説明し、正しい装着手順で使用を開始すること。また、患者との意思疎通が困難な場合には、看護、介護介添する者に使用方法を説明すること。
8. 定期的に本品を脱ぎ、使用部位に異常が無いか確認すること。
9. 間欠的空気圧迫装置等、他の圧迫療法と併用する場合には、適宜本品及び皮膚の状態を確認すること。
[本品単独装着時より高い圧迫圧が加わったり、時間とともに本品にしわが寄ったり、ずり落ちたりすることがあるため。]
10. 軟膏等の薬品や油脂、溶剤等が付着すると繊維が劣化するので付着しないよう注意すること。
11. 弾性ストッキングに精通した術者の指導がない限り、本品を他のストッキングや靴下等と重ねて装着しないこと。
12. 編み終わりに残り糸が出ている場合があるが、残り糸があった場合でも、ほつれの原因となるため切り取らない。

<不具合・有害事象>

【重大な有害事象】

1. 血行障害
チアノーゼ、腫脹、疼痛、しびれ、皮膚の冷感等、血行障害があらわれた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
2. 神経障害
腓骨神経麻痺等の神経障害があらわれた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
3. 皮膚障害
・本品のずれ、圧迫等により、皮膚潰瘍等の皮膚障害があらわれた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
・ショック等末梢循環が不安定な患者に使用した場合には、装着部位の血流に注意すること。
[装着部位に血行障害が発生し壊疽等の皮膚障害が起こる可能性があるため。]

【その他の有害事象】

本品装着部位に発赤、水疱、かゆみ、発疹、かぶれ等の皮膚障害があらわれた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。本品を脱いだ後で皮膚障害があらわれた場合には、同様に適切な処置を行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

室温で直射日光、熱、湿気を避けて保管すること。

【保守・点検に係る事項】

1. 洗濯は40℃以下のぬるま湯又は水に市販の中性洗剤を溶かし、洗濯機で洗う場合には、洗濯ネットを使用すること。

2. 乾いた厚手のタオルに包んで脱水すること。
3. 直射日光を避け、陰干しにすること。乾燥機を使用する場合には、60℃以下で使用するこゝと。
4. 塩素系漂白剤の使用、柔軟剤の使用、ドライクリーニング、アイロンがけは生地をいためるためしないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：テルモ・ビーエスエヌ株式会社

電話番号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター

外国製造業者：ビーエスエヌ・ジョブスト・ゲーエムベーハー
BSN-JOBST GmbH

国名：ドイツ連邦共和国

販売：テルモ株式会社

お問い合わせ先：0120-12-8195 テルモ・コールセンター
(9：00～17：45 土・日・祝日を除く)

